

令和5年度

事業報告及び財務諸表等

公益財団法人長岡市米百俵財団

令和5年度 事業報告書

I 事業運営

令和5年度は、「米百俵プレイス ミライエ長岡」の一部オープンを機に、「米百俵」の精神や財団の活動をより一層、発信するとともに、「米百俵未来塾」をはじめとする各種人材育成事業の実施をとおして、豊かな感性を持ち、新しい時代を生きる子ども等の育成を行った。

また、ミライエ長岡全館オープンに向け、長岡市や関係機関と協議しながら、「新しい米百俵」の理念にかなう人材育成事業の実施体制について検討を行うとともに、戦略的に財団の活動や「米百俵」の精神の発信を行った。

1 大学等奨学金貸与事業

大学生等に対して奨学金の貸付けを行った。

[貸付人数（採用年度別）]

平成30年度生 1人	平成2年度生 13人	令和3年度生 21人
令和4年度生 34人	令和5年度生 35人	合計 104人

2 高校留学奨学金給付事業

(1) 長期（年間）留学に対する奨学金の給付

選考決定者数 1人（応募者数 1人）

（留学先）ベルギー

(2) 短期留学に対する奨学金について、新規の応募はなかった。

3 中小企業従業員・農業者派遣研修助成事業

中小企業従業員派遣研修費助成金の交付 合計 12人

（研修先）長岡産業活性化協会 NAZE 3人、公益財団法人にいがた産業創造機構 3人、長岡電気工事職業訓練協会 2人、中小企業大学校三条校 1人、その他 3人

4 「米百俵」書籍の頒布等による啓発事業

米百俵の精神の普及啓発のため、各種書籍等の頒布等を行った。

	書籍等	令和5年度状況
1	「米百俵 小林虎三郎の思想」	有料頒布 18冊、献本 1冊
2	ドナルド・キーン氏英訳 「One Hundred Sacks of Rice」	有料頒布 5冊、献本 21冊
3	米百俵読本「米百俵 小林虎三郎物語」	市内小学生配付 2,339冊 有料頒布 36冊、献本 52冊
4	「米百俵—その先の未来へ—」	有料頒布 8冊、献本 2冊
5	アニメDVD「長岡の侍～米百俵～」	有料頒布 13枚、寄贈 1枚

5 中学生海外体験派遣事業

長岡市国際交流協会と連携し、長岡市姉妹都市（ホノルル）への中学生海外派遣を行い、将来、国際的に活躍する人材の育成を図るとともに、事前研修で「米百俵」の精神を学ぶ時間を設け、現地での普及啓発に繋げる取り組みを行った。

（実施状況）

- ・ホノルル訪問 中学1年生 15人（訪問期間：令和6年1月7日から13日まで 7日間）

※フォートワース訪問については、新型コロナウイルス感染防止のため、令和5年度当初に予定していたとおり実施しなかった。

6 新しい米百俵事業

子どもたちの視野を広げ、問題解決力や柔軟な発想力、自ら未来を切り拓く力を持つ人材を育成するため、様々な分野の講座を開催した。

(1) 米百俵未来塾（開府400年寄附金充当事業）

人材育成に取り組む市内の団体と連携し、「米百俵」の精神をはじめ芸術、スポーツなど全6回にわたる多面的な講座を開催した。

（対象者） 小学4年生～中学3年生

（参加者） 小学生40人、中学生6人、計46人

（講座） 令和5年8月8日～12月16日 全6回開催（開校式8月8日、修了式12月16日）

（共同主催団体） 長岡市芸術文化振興財団、長岡市国際交流協会、長岡市スポーツ協会、長岡花火財団、ながおか・若者・しごと機構、まちなかキャンパス長岡

(2) プログラミング教育（開府400年寄附金充当事業）

連携団体等での実施がなかったため、令和5年度は支援を実施しなかった。

(3) 芸術・文化活動の体験

長岡市芸術文化振興財団と連携し「東京フィルハーモニー交響楽団 長岡特別演奏会」において一般より安価な特別席を用意し、長岡の子どもたちが本物の芸術・文化に触れる機会を提供した。

（対象者） 小学4年生～中学3年生

（開催日） 令和6年3月24日（日）

（会場） 長岡市立劇場 大ホール

（参加者） 125人

(4) 「米百俵デー市民の集い」の実施

第4期米百俵未来塾修了生による活動報告を実施し、人材育成事業の取り組みや「米百俵」の精神を発信するとともに、新井紀子氏による講演会を実施した。

（開催日） 令和5年6月3日（土）

（会場） 長岡リリックホール コンサートホール

（内容） 第1部 米百俵未来塾修了生による活動報告

第2部 記念講演会 新井 紀子 氏（国立情報学研究所 社会共有知研究センター長・教授）
テーマ「AI時代を生き抜くために ～今、必要な力とは～」

（参加者） 約250人

II 財団運営

1 理事会の開催状況

第1回理事会（令和5年6月1日）

第1号議案 令和4年度事業報告及び財務諸表等について

第2号議案 後任評議員候補者の推薦について

第3号議案 主たる事務所の所在地の変更について

第4号議案 奨学生選考委員会規程の改正について

第5号議案 資産の運用方針について

第6号議案 令和5年度定時評議員会の招集について

報告事項 理事長の職務の執行状況について、令和5年度奨学生の選考結果について

第2回理事会（令和5年7月26日） ※決議の省略の方法による

後任理事候補者の推薦について

後任評議員候補者の推薦について

令和5年度第1回臨時評議員会の招集について

第3回理事会（令和6年3月8日）

第1号議案 令和6年度事業計画及び収支予算について

第2号議案 奨学金貸付規程の改正について

第3号議案 中小企業従業員・農業者派遣研修助成規程の改正について

第4号議案 臨時職員等就業規程の改正について

第5号議案 令和5年度第2回臨時評議員会の招集について

報告事項 奨学金返還の滞納状況について、『三島億二郎物語』出版への協賛について
理事長の職務の執行状況について、米百俵未来塾の活動報告について

2 評議員会の開催状況

定時評議員会（令和5年6月19日）

報告事項 令和4年度事業報告について

第1号議案 令和4年度財務諸表等について

第2号議案 評議員の補欠選任について

その他 令和5年度奨学生の選考結果について、令和5年度第1回理事会決議事項について

第1回臨時評議員会（令和5年8月21日） ※決議の省略の方法による

後任理事の補欠選任について

後任評議員の補欠選任について

第2回臨時評議員会（令和6年3月29日）

報告事項 令和5年度第3回理事会決議事項について、奨学金返還の滞納状況について、
『三島億二郎物語』出版への協賛について、米百俵未来塾の活動報告について

3 役員一覧（令和6年3月31日現在）

理事長：水流 潤太郎（1名、非常勤）

副理事長：金澤 俊道（1名、非常勤）

理事：青柳 成俊、恩田 真弓、ジョーンズ文穂、鈴木 勇二、高野 真規、
武田 雅敏、原 和彦、平石 明、村山 光博、渡邊 泰崇（10名、非常勤）

評議員：荒木 正、石田 幸雄、大原 興人、小川 桂子、加藤 尚登、
鎌土 重晴、小林 啓之、佐々木順子、羽賀 友信、広川 和義（10名、非常勤）

監事：唐橋 浩輔、長津 和彦（2名、非常勤）

事業報告の附属明細書

一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はありません。

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,853	19,812	11,041
棚卸資産	4,032,615	4,349,206	△ 316,591
立替金	0	540	△ 540
流動資産合計	4,063,468	4,369,558	△ 306,090
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	721,326,830	553,775,530	167,551,300
定期預金	8,639,000	18,639,000	△ 10,000,000
普通預金	8,637,584	166,188,884	△ 157,551,300
基本財産合計	738,603,414	738,603,414	0
(2) 特定資産			
奨学事業積立資産	525,153,928	516,789,064	8,364,864
奨学金貸付金	596,455,300	613,339,000	△ 16,883,700
特定資産合計	1,121,609,228	1,130,128,064	△ 8,518,836
(3) その他固定資産			
ソフトウエア	2,069,100	0	2,069,100
その他固定資産合計	2,069,100	0	2,069,100
固定資産合計	1,862,281,742	1,868,731,478	△ 6,449,736
資産合計	1,866,345,210	1,873,101,036	△ 6,755,826
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	909,369	288,412	620,957
流動負債合計	909,369	288,412	620,957
2. 固定負債			
長期未払金	2,069,100	0	2,069,100
固定負債合計	2,069,100	0	2,069,100
負債合計	2,978,469	288,412	2,690,057
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
出捐金	612,105,000	612,105,000	0
寄付金	1,251,261,741	1,260,707,624	△ 9,445,883
指定正味財産合計	1,863,366,741	1,872,812,624	△ 9,445,883
(うち基本財産への充当額)	(738,603,414)	(738,603,414)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(1,121,609,228)	(1,130,128,064)	(△ 8,518,836)
2. 一般正味財産	0	0	0
正味財産合計	1,863,366,741	1,872,812,624	△ 9,445,883
負債及び正味財産合計	1,866,345,210	1,873,101,036	△ 6,755,826

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[3,187,768]	[4,070,767]	[△ 882,999]
基本財産受取利息	3,187,768	4,070,767	△ 882,999
特定資産運用益	[324,584]	[324,361]	[223]
特定資産受取利息	324,584	324,361	223
事業収益	[46,876]	[78,521]	[△ 31,645]
書籍頒布収益	46,876	78,521	△ 31,645
受取寄付金	[10,781,224]	[11,237,964]	[△ 456,740]
受取寄付金	10,781,224	11,237,964	△ 456,740
雑収益	[15,730]	[16,945]	[△ 1,215]
受取利息	0	5	△ 5
雑収益	15,730	16,940	△ 1,210
経常収益計	14,356,182	15,728,558	△ 1,372,376
(2) 経常費用			
事業費	[13,839,474]	[15,247,845]	[△ 1,408,371]
役員報酬	0	1,260,000	△ 1,260,000
給料手当	1,581,421	1,337,040	244,381
福利厚生費	295,897	364,664	△ 68,767
会議費	14,550	2,195	12,355
旅費交通費	1,523,492	56,017	1,467,475
通信運搬費	214,402	354,286	△ 139,884
減価償却費	108,900	0	108,900
消耗品費	529,936	428,165	101,771
印刷製本費	1,605,313	1,364,812	240,501
著作権使用料	0	22,896	△ 22,896
使用料	439,700	504,700	△ 65,000
光熱水料費	7,826	18,686	△ 10,860
賃借料	942,833	1,436,107	△ 493,274
保険料	16,185	13,771	2,414
諸謝金	2,292,182	2,127,640	164,542
租税公課	0	1,600	△ 1,600
支払助成金	510,500	263,000	247,500
支払給付金	800,000	0	800,000
支払負担金	21,315	30,097	△ 8,782
委託費	1,448,360	3,331,800	△ 1,883,440
手数料	418,682	421,839	△ 3,157
交際費	45,280	20,630	24,650
雑費	0	2,200	△ 2,200
広告宣伝費	1,022,700	1,885,700	△ 863,000
管理費	[516,708]	[480,713]	[35,995]
役員報酬	0	140,000	△ 140,000

科 目	当年度	前年度	増 減
給料手当	175,713	148,560	27,153
福利厚生費	32,877	40,518	△ 7,641
会議費	1,229	2,705	△ 1,476
旅費交通費	82,240	84,080	△ 1,840
通信運搬費	3,850	6,114	△ 2,264
消耗品費	0	3,696	△ 3,696
賃借料	13,789	16,010	△ 2,221
諸謝金	0	16,500	△ 16,500
支払負担金	200,000	0	200,000
手数料	7,010	22,530	△ 15,520
経常費用計	14,356,182	15,728,558	△ 1,372,376
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	[1,335,341]	[3,346,824]	[△ 2,011,483]
受取寄付金	1,335,341	3,346,824	△ 2,011,483
一般正味財産への振替額	[△ 10,781,224]	[△ 11,237,964]	[456,740]
一般正味財産への振替額	△ 10,781,224	△ 11,237,964	456,740
当期指定正味財産増減額	△ 9,445,883	△ 7,891,140	△ 1,554,743
指定正味財産期首残高	1,872,812,624	1,880,703,764	△ 7,891,140
指定正味財産期末残高	1,863,366,741	1,872,812,624	△ 9,445,883
III 正味財産期末残高	1,863,366,741	1,872,812,624	△ 9,445,883

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位: 円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	[2,671,060]	[516,708]	[0]	[3,187,768]
基本財産受取利息	2,671,060	516,708	0	3,187,768
特定資産運用益	[324,584]	[0]	[0]	[324,584]
特定資産受取利息	324,584	0	0	324,584
事業収益	[46,876]	[0]	[0]	[46,876]
書籍頒布収益	46,876	0	0	46,876
受取寄付金	[10,781,224]	[0]	[0]	[10,781,224]
受取寄付金	10,781,224	0	0	10,781,224
雑収益	[15,730]	[0]	[0]	[15,730]
雑収益	15,730	0	0	15,730
経常収益計	13,839,474	516,708	0	14,356,182
(2) 経常費用				
事業費	[13,839,474]	[0]	[0]	[13,839,474]
給料手当	1,581,421	0	0	1,581,421
福利厚生費	295,897	0	0	295,897
会議費	14,550	0	0	14,550
旅費交通費	1,523,492	0	0	1,523,492
通信運搬費	214,402	0	0	214,402
減価償却費	108,900	0	0	108,900
消耗品費	529,936	0	0	529,936
印刷製本費	1,605,313	0	0	1,605,313
使用料	439,700	0	0	439,700
光熱水料費	7,826	0	0	7,826
賃借料	942,833	0	0	942,833
保険料	16,185	0	0	16,185
諸謝金	2,292,182	0	0	2,292,182
支払助成金	510,500	0	0	510,500
支払給付金	800,000	0	0	800,000
支払負担金	21,315	0	0	21,315
委託費	1,448,360	0	0	1,448,360
手数料	418,682	0	0	418,682
交際費	45,280	0	0	45,280
広告宣伝費	1,022,700	0	0	1,022,700
管理費	[0]	[516,708]	[0]	[516,708]
給料手当	0	175,713	0	175,713
福利厚生費	0	32,877	0	32,877
会議費	0	1,229	0	1,229
旅費交通費	0	82,240	0	82,240
通信運搬費	0	3,850	0	3,850
賃借料	0	13,789	0	13,789
支払負担金	0	200,000	0	200,000
手数料	0	7,010	0	7,010
経常費用計	13,839,474	516,708	0	14,356,182
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0	0
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	0	0	0	0

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0	0
II 指定正味財産増減の部				
受取寄付金	[1,335,341]	[0]	[0]	[1,335,341]
受取寄付金	1,335,341	0	0	1,335,341
一般正味財産への振替額	[△ 10,781,224]	[0]	[0]	[△ 10,781,224]
一般正味財産への振替額	△ 10,781,224	0	0	△ 10,781,224
当期指定正味財産増減額	△ 9,445,883	0	0	△ 9,445,883
指定正味財産期首残高	1,793,379,183	79,433,441	0	1,872,812,624
指定正味財産期末残高	1,783,933,300	79,433,441	0	1,863,366,741
III 正味財産期末残高	1,783,933,300	79,433,441	0	1,863,366,741

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券・・・償却原価法によっている。ただし、取得価額と債券金額との差額に重要性が乏しい場合は償却原価法を適用しない。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産・・・・・・・・最終仕入原価法による原価法によっている。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①ソフトウェア・・・・・・・・定額法によっている。

(3) リース取引の処理方法

リース会計基準適用初年度開始前（平成20年3月31日以前）の所有権移転外ファイナンス・リース取引並びにリース会計基準適用後（平成20年4月1日以後）の所有権移転外ファイナンス・リース取引の内、リース料総額が少額（3百万円以下）のリース取引及びリース期間1年以内のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

なお、未経過リース料総額は、156,750円である。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	553,775,530	197,340,400	29,789,100	721,326,830
定期預金	18,639,000	0	10,000,000	8,639,000
普通預金	166,188,884	0	157,551,300	8,637,584
小 計	738,603,414	197,340,400	197,340,400	738,603,414
特定資産				
奨学事業積立資産	516,789,064	99,464,685	91,099,821	525,153,928
奨学金貸付金	613,339,000	78,250,000	95,133,700	596,455,300
小 計	1,130,128,064	177,714,685	186,233,521	1,121,609,228
合 計	1,868,731,478	375,055,085	383,573,921	1,860,212,642

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
投資有価証券	721,326,830	(721,326,830)	(0)	—
定期預金	8,639,000	(8,639,000)	(0)	—
普通預金	8,637,584	(8,637,584)	(0)	—
小 計	738,603,414	(738,603,414)	(0)	—
特定資産				
奨学事業積立資産	525,153,928	(525,153,928)	(0)	—
奨学金貸付金	596,455,300	(596,455,300)	(0)	—
小 計	1,121,609,228	(1,121,609,228)	(0)	—
合 計	1,860,212,642	(1,860,212,642)	(0)	—

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
ソフトウェア	2,178,000	108,900	2,069,100
合 計	2,178,000	108,900	2,069,100

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
基本財産 投資有価証券			
利付国庫債券152回 20年(額面5千万円)	50,240,000	51,964,100	1,724,100
大阪府公募公債398回 10年(額面3千万円)	30,099,600	30,159,000	59,400
新潟県公募公債27年度1回 10年(額面2千万円)	20,000,000	20,090,000	90,000
福岡市公募公債27年度6回 20年(額面3千万円)	30,000,000	30,444,420	444,420
利付国庫債券157回 20年(額面4千万円)	40,386,000	36,672,000	△ 3,714,000
福井県公募公債28年度1回 20年(額面1億円)	100,000,000	90,630,000	△ 9,370,000
利付国庫債券164回 20年(額面9千9百万円)	98,464,330	91,697,364	△ 6,766,966
利付国庫債券170回 20年(額面1千万円)	10,013,000	8,745,000	△ 1,268,000
利付国庫債券174回 20年(額面2千万円)	19,820,800	17,428,020	△ 2,392,780
利付国庫債券178回 20年(額面5千万円)	50,271,500	43,465,000	△ 6,806,500
利付国庫債券179回 20年(額面8千万円)	74,691,200	69,240,000	△ 5,451,200
地方公共団体金融機構債券118回 5年(額面1億円)	99,604,000	98,140,000	△ 1,464,000
地方公共団体金融機構債券119回 5年(額面6千万円)	58,734,000	58,862,340	128,340
鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券126回 5年(額面4千万円)	39,002,400	39,164,000	161,600
特定資産 投資有価証券			
関西電力社債532回 5年(額面1億円)	100,016,467	99,957,800	△ 58,667
北海道電力社債346回 5年(額面1億円)	100,178,477	100,003,600	△ 174,877
中部電力社債501回 10年(額面1億円)	100,371,375	100,320,000	△ 51,375
合 計	1,021,893,149	986,982,644	△ 34,910,505

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
受取寄付金(奨学事業等寄付金充当額)	7,283,304
受取寄付金(開府400年寄付金充当額)	3,497,920
合 計	10,781,224

計 算 書 類 の 附 属 明 細 書

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の2. において記載している。
2. 引当金の明細
該当事項なし。

財産目録

令和6年 3月31日現在

公益財団法人 長岡市米百俵財団

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	第四北越銀行 長岡市役所支店他	運転資金として ゆうちょ銀行 振替口座 No.00600-0-17390 11,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2011487 19,853 <u>30,853</u>	(30,853)
棚卸資産	米百俵読本 6,329冊 英語版 336冊 日本語版「米百俵」 651冊 米百俵～その先の未来へ～ 1,868冊	頒布用出版物として	(4,032,615) 716,379 213,987 365,643 2,736,606
流動資産合計			4,063,468
(固定資産)			
基本財産			[738,603,414]
投資有価証券	利付国庫債券他	(共用資産) うち83.79%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に基づく人材育成事業の財源としている。 うち16.21%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている。 (内訳) 利付国庫債券152回(額面5千万円) 50,240,000 大阪府公募公債398(額面3千万円) 30,099,600 新潟県公募公債27/1(額面2千万円) 20,000,000 福岡市公募公債27/6(額面3千万円) 30,000,000 利付国庫債券157回(額面4千万円) 40,386,000 福井県公募公債28/1(額面1億円) 100,000,000 利付国庫債券164回(額面9千9百万円) 98,464,330 利付国債債券170回(額面1千万円) 10,013,000 利付国庫債券174回(額面2千万円) 19,820,800 利付国庫債券178回(額面5千万円) 50,271,500 利付国庫債券179回(額面8千万円) 74,691,200 地方公共団体金融機構債券118回(額面1億円) 99,604,000 地方公共団体金融機構債券119回(額面6千万円) 58,734,000 鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券126回(額面4千万円) 39,002,400 小計 <u>721,326,830</u>	(721,326,830) 604,406,357 116,920,473
定期預金	ゆうちょ銀行	(共用資産) うち83.79%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に基づく人材育成事業の財源としている。 うち16.21%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源としている。 (内訳) ゆうちょ銀行 定額郵便貯金 No.51250-468871-02 8,639,000 小計 <u>8,639,000</u>	(8,639,000) 7,238,698 1,400,302

特定資産	普通預金	第四北越銀行 長岡市役所支店	(共用資産) うち83.79%は、公益目的保有財産であり、運用益を米百俵の精神に 基づく人材育成事業の財源としている。 うち16.21%は、管理運用財産であり、運用益を管理運営費の財源と している。 (内訳) 第四北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.120648 8,637,584 小計 8,637,584	(8,637,584) 7,237,511 1,400,073
	奨学事業積立資産	第四北越銀行 長岡市役所支店他	交付者の定めた用途に充てるために保有している資金であり、米百 俵の精神に基づく人材育成事業の財源として使用している。 (内訳) 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.181494 10,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 定期預金 No.6003644 15,000,000 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.42660 169,302,837 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.2035550 30,088,433 第四北越銀行 長岡市役所支店 普通預金 No.125167 20,000 第四北越銀行長岡市役所支店 普通預金 No.120648 176,339 関西電力社債532回(額面1億円) 100,016,467 北海道電力社債346回(額面1億円) 100,178,477 中部電力社債501回(額面1億円) 100,371,375 小計 525,153,928	【 1,121,609,228 】 (525,153,928)
その他固定資産	奨学金貸付金	奨学生451名	奨学金の無償貸与	(596,455,300)
	ソフトウェア	北銀ソフトウェア株式会社	奨学金管理システム	【 2,069,100 】 (2,069,100)
固定資産合計				1,862,281,742
資産合計				1,866,345,210
(流動負債)	未払金		奨学金管理システム等未払分	(2,978,469)
流動負債合計				2,978,469
負債合計				2,978,469
正味財産				1,863,366,741

監査報告書

令和6年5月29日

公益財団法人長岡市米百俵財団
理事長 水流 潤太郎 様

公益財団法人長岡市米百俵財団
監事 唐橋 浩輔



公益財団法人長岡市米百俵財団
監事 長津 和彦



私たち監事は、当法人の令和5年4月1日から令和6年3月31日までの事業年度に係る事業報告、計算書類及びこれらの附属明細書並びに財産目録の監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事はそれぞれ、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況及び事業について報告を聴取し、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書を監査いたしました。

さらに、上記の方法とあわせて、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告及びその附属明細書について

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実の存在は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録について

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。